

もっと便利に!

# 図書館を活用しよう

田方広報研究会共同編集



# ほんとの出会い

## ～まちの図書館～

図書館と聞くと「本を借りる場所」というイメージを持つ人が多いかもしれません。実は、図書館には学びや出会い、地域とのつながりなど、さまざまな魅力が詰まっています。今回の特集では、田方地域の図書館を紹介しながら、現代の図書館が果たす役割や新たな楽しみ方を探っていきます。

まずはここから

## 図書館の使い方

### 1. 利用者カードを作る



初めて本を借りる人は、カウンターで**利用者カード**を作成してください。  
※田方地域の住民なら全てのカードを作ることができます。

#### 作成の流れ

- ①申込書に必要事項を記入
- ▼
- ②住所や氏名を確認できる身分証明書を提示

### 探す・調べる



- ▶パソコンでの検索もできます。
- ▶資料が見つからないときは図書館員にお尋ねください。

### 予約する・リクエストする



- ▶貸し出し中の資料を予約できます。
- ▶図書館の蔵書にない本はリクエストできます。

### CD・DVDも



▶CDやDVDなどの視聴覚資料の試聴・鑑賞ができます。貸し出しも行っています。

### 他にもたくさん

- ▶近隣市町との相互利用が可能
- ▶インターネット端末が利用可能 など…



詳細は各市町の図書館 HP をチェック!

#### 土肥図書館



伊豆市土肥 670-2  
☎ 0558-98-3109

#### 修善寺図書館



伊豆市小立野 66-1  
☎ 0558-72-9868

#### 中央図書館



伊豆の国市三福 253-1  
☎ 0558-76-5566

### 身近にたくさん 各市町の図書館

- 函南町
- 伊豆の国市
- 伊豆市

#### 天城図書館



伊豆市湯ヶ島 117-2  
☎ 0558-85-2611

#### 中伊豆図書館



伊豆市八幡 500-1  
☎ 0558-83-5208

#### 葦山図書館



伊豆の国市四日町 772  
☎ 055-949-8605

#### 函南町立図書館



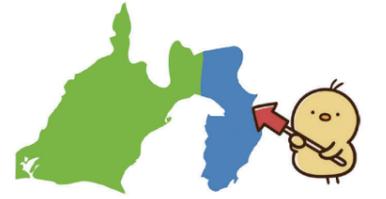
函南町上沢 107-1  
☎ 055-979-8700

### 2. 本を借りる

利用者カードと借りたい本をカウンターに持っていく



近隣市町と相互利用ができます



### 3. 本を返す

直接カウンターに返却してください



閉館時はブックポストに返却



# 各市町の特徴を紹介



## 伊豆の国市

### INTERVIEW



図書館ボランティア  
きくち  
菊池さん

#### Q 図書館の好きなのところは？

たくさんの本を、実際に手に取って確かめられるところです。工作教室などのイベントも開催されていて、本を読むだけでなく地域の人が集まり交流することができる場にもなっています。

#### Q 読み聞かせボランティアの魅力は？

子どもたちのキラキラした目や笑顔が見られるところが魅力です。お話に夢中になる子どもの姿はかわいらしく、その生き生きとした表情から、私もパワーをもらえます。

#### 🔍 子どもの読書環境整備

- ▷ 図書館読み聞かせボランティア
- ▷ 学校、保育園、幼稚園への本の貸し出しを実施
- ▷ イベント企画：こども読書週間、としょかんクイズ、夏のお楽しみ会などを開催



#### 🔍 企画展示

- ▷ テーマに沿った本の展示コーナーを館内に2つ常設
- 【12月のテーマ】  
豊臣兄弟特集  
大河ドラマに合わせた豊臣兄弟に関する歴史書や戦国小説
- 心のメンテナンス特集  
心理学や心の健康に関する本



#### 🔍 いずのくに電子図書館

- ▷ 1,200点以上の書籍を所蔵
- ▷ 随時更新中



## 函南町

### INTERVIEW



図書館司書  
おおはた  
大畑さん

#### Q 函南町立図書館の一番の魅力は？

子育て交流センターとの複合施設ということもあり、特に子どもの読書活動推進に積極的に取り組んでいるところです。また、建物も新しく、自動貸出機や読書記録シール機などの設備も整っています。

#### Q 特に力を入れているサービスは？

レファレンスサービス（調べものの手助け）です。レファレンス協同データベースにも事例をたくさん登録し、毎年国立国会図書館長からお礼状もいただいています。



#### 🔍 子育て支援

- ▷ 平成31年に「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受賞
- ▷ 毎年、町内全園の年長児や小中学生の図書館見学会を実施
- ▷ 遠隔地にある小学校へ出張し、本の貸し出しを実施

#### 🔍 特集展示やイベントの充実

- ▷ テーマに沿った本の展示コーナーを館内に4つ常設、月ごとに入れ替え
- ▷ 中高生向けの掲示板の設置
- ▷ 春・秋の読書週間、夏休み・冬休みに合わせてさまざまなイベントを開催

#### 🔍 他機関との連携

- ▷ かなみ仏の里美術館で出張図書館
- ▷ 健康や子育て、福祉に関する部署と連携しテーマ展示やイベントを開催
- ▷ 近隣高校と共同でイベントを開催

#### 🔍 利用促進

- ▷ こども園、放課後児童クラブなどに毎月本の貸し出しを実施
- ▷ イベント企画：夏のお楽しみ会、工作教室、クリスマス会など季節に応じたイベントを開催
- ▷ 生涯学習：ガーデニング、富士山講座、椅子ヨガ、終活講座などを実施

#### 🔍 本物に触れる

- ▷ 絵本作家のイベント開催時には、絵本の原画を館内に展示
- ▷ 落語、クラシック音楽、絵本ハーブなどプロの技術を体感するイベントを開催



#### 🔍 子育てと連携

- ▷ ブックスタート：7カ月健診時に、読み聞かせの意義を説明して絵本の読み聞かせをする。最後に絵本をプレゼント
- ▷ ベビータイム：お話を実施した後に、講師によるヨガやリトミック、歌、体ほぐしなどを行う（第2、第3水曜日）



## 伊豆市



図書館長  
つぼうち  
坪内さん

### INTERVIEW

#### Q 皆さんに伝えたいことは？

図書館では、本の貸し出しだけでなく、さまざまなイベントもやっています。絵本の原画なども月替わりで展示しています。また、12月からは、コンサート、トークイベント、原画展などが目白押しです。

#### Q 図書館の一番の魅力は？

市内4館ともにそれぞれ魅力があります。中伊豆は広い閲覧席、天城は井上靖資料室の併設、土肥は駿河湾に沈む夕日を望める場所、修善寺は狩野川と桜、ログハウスを一望できる場所が魅力の図書館です。伊豆市の図書館巡りはいかがですか？



— 図書館で新たな出会いを —  
文化庁が実施した「国語に関する世論調査」によると、マンガや雑誌を除いた1カ月の読書量について「読まない」と答えた人が最も多く、実に62.6%に上る結果となりました。この調査結果は、現代人が本を読む時間を確保することがますます難しくなっている現状を反映していると言えます。忙しい日常の中で、読書に使える時間を持つことは本当に難しいこと

かもしれません。だからこそ、本との出会いの場として「図書館」に注目してみたいかがでしょうか。心落ち着く静かな環境で、普段は手に取らないジャンルの本を探してみようと、思いもよらぬ発見があるかもしれません。図書館には、最新のベストセラーや話題の書籍だけでなく、何年も前に書かれたものや、あまり知られていない名作など、幅広い本がそろっています。偶然、棚の隅にある本が目に入り、それが自分の新たな興味を引

き出すこともあります。そうした「出会い」は、図書館ならではの魅力です。本との出会いを通じて新しい視点を得たり、自己成長のきっかけになったりするでしょう。

— 学びと出会いを育む図書館 —  
図書館の魅力は本以外にもあります。同じ本を読んだ人と感想を語り合ったり、読書以外の趣味や関心について意見交換をしたりすることで、共感や新たな発見を得ることが出来ます。これらの交流は、情報の共有だけでなく、心温まる人間関係を育むきっかけにもなります。図書館は、「読むこと・知ること・つながること」の楽しさを提供してくれる場所なのです。

最近、「本を読んでいる」「誰かと話題を共有したい」と感じているなら、まずは気軽に図書館へ足を運んでみてください。静かな空間で自分だけの時間を楽しんだり、誰かとの会話から新しい世界を知ったりすることが出来るかもしれません。日々の生活の中で忘れがちな「読むこと」「知ること」「つながること」の楽しさを思い出させてくれる場所として、図書館は私たちにとって重要な存在です。本や人との新たな出会いがきつと待っています。

それぞれの場所で、  
それぞれの楽しみを。



田方広報研究会とは

伊豆市・伊豆の国市・函南町・JAふじ伊豆・伊豆保健医療センターの各広報担当者で構成された、広報紙の進展とその適切な調整を図ることを目的とした研究会です。

『<sup>そら</sup>宙わたる教室』(文藝春秋)  
伊与原新/著

2017年日本地球惑星科学連合大会。科学部の研究が、高校生セッションで優秀賞を獲得したことがきっかけで生まれた小説。部員たちは師と出会い、仲間と実験に挑んでいく。学ぶことが生きることと重なる瞬間に立ち会える、希望に満ちた物語です。



杉山さん

『いもころがし』(童心社)  
川崎大治/脚本 前川かずお/絵

あるお寺に鼻が悪くて言葉がはっきりしない和尚さんがいました。和尚さんは小僧さんたちに「わしのすとおりに」して行儀をよくするように言い聞かせますが、さて、どうなるでしょう?おはなし会でよく演じる私の大好きな紙芝居です。



高橋さん

『お任せ!数学屋さん』(ポプラ社)  
向井湘吾/著

どんな悩みでも数学の力で必ず解決してくれるという「数学屋」。基本的には学園青春小説なので、数学が得意でない人にもおすすめの一冊です。数学って日常生活には関係ないと思っている人にこそ読んでほしい本です。



大畑さん

図書館司書イチオシ!

# おすすめの一冊

『わにわにのおふろ』(福音館書店)  
小風さち/文 山口マオ/絵

お風呂が大好きなワニのわにわにのお風呂の入りは、きゅりきゅりきゅりりと蛇口をひねり、じゃばじゃばとお湯をためて、おもちゃを浮かべてお風呂へじょろーん!お風呂時間が楽しくなる1冊です。他のわにわにシリーズもおすすめです。



萩島さん

『本売る日々』(文藝春秋)  
青山文平/著

文政年間、村々を回る本の行商人が主人公です。地方の村に本を愛する豊かな教養があることに驚き、知識欲に誠実に応える主人公の姿には、職業柄感じ入ります。独特の切り口の時代小説が多く、この作家の作品はどれもおすすめです。



中山さん

『こころのねっこ』(中央公論新社)  
読売新聞生活部/監修

読売新聞の「こどもの詩」55周年精選集です。子どもならではの目線で日々の様子がつづられていて、とても癒やされます。中には思わずツツコンでしまうものや物事の核心をつくものもあります。一作品はとても短いので、読書が苦手な人にもおすすめです!



佐藤さん

※紹介した6冊は3市町の図書館で借りることができます。